

交流の扉

第22号

平成24年3月

伊万里にお住いの
外国人の方へ

今年7月9日から外国人住民の方にも住民票ができます。

外国人登録法の廃止に伴い、日本に在住する外国人の方も日本人と同様に住民基本台帳法の適用対象となります。(但し、観光を目的とした短期滞在者や在留期間が3ヶ月以下で決定している方、または住所を定めていない外国人の方には適用されません。)

制度の移行準備として、法施行後の住民票となる「仮住民票」が、本年5月7日を基準日として作成され、現在登録されてい



る住所へ郵送されますので、記載内容に間違いがないかを確認してください。詳しい発送日については、広報等でお知らせがあります。

※「仮住民票」は、外国人登録の内容を基に作成されます。住所異動の届出をしていない場合、住民票が作成されませんので、外国人登録証の住所を確認して、正確な住所を市役所に届けてください。

(問合せ：市役所 市民課 記録管理係 23-2129)

今年、伊万里市と中国大連市は、友好交流25周年を迎えます。

交流のあゆみ

- 1987年 伊万里市経済交流中国友好視察団が大連市を訪問。
- 1988年 両市代表団の相互訪問や太極拳指導者招へいなど、具体的な交流が始まる。
- 2007年 友好交流20周年を記念して「友好交流都市」締結、市民訪問団(76人)が大連市を訪問。

☆今年、友好交流25周年を記念して、市民による大連市訪問計画されています。参加者募集等は、広報でお知らせがあります。



友好交流20周年記念訪問団の交流の様子

☆伊万里市国際交流協会とは (Imari international exchange society)

設立：平成元年(1989年)3月に市内の主な事業所・市民団体で設立

主な目的：伊万里市と世界の関係都市との間で、産業をはじめ教育・文化・スポーツ等の交流を進め、民間での活動を広く盛んにすること

活動：目的を実現するために、協会会員が協調しながら世界に開かれたまちづくり活動に取り組んでいます。

会員一覧(34団体)

※随時会員募集中

伊万里市	社団法人 伊万里青年会議所	伊万里金融協会	社団法人 伊万里建設業協会
伊万里市議会	伊万里市観光協会	伊万里市区長会連合会	株式会社 名村造船所伊万里事業所
伊万里市教育委員会	伊万里商工会議所	伊万里市地域婦人連絡協議会	株式会社 JA フーズさが
いまり SGG(善意通訳者の会)	伊万里市農業協同組合	伊万里市文化連盟	伊万里情報センター 株式会社
伊万里市日中友好協会	伊万里陶磁器工業協同組合	伊万里市子ども会連合会	NPO 法人 国際協力の会 MIS
伊万里ライオンズクラブ	波多津漁業協同組合	伊万里市スポーツ少年団	西松浦通運 株式会社
伊万里ロータリークラブ	伊万里旅館組合	伊万里市小中学校校長会	株式会社 SUMCO 九州事業所
伊万里西ロータリークラブ	伊万里飲食業組合	伊万里市体育協会	
国際ソプロチミスト伊万里	伊万里機械金属工業会	社団法人 伊万里・有田地区医師会	(順不同)





国際交流ひろば

8月6日(土)「国際交流ひろば」が伊万里市民センターにおいて開催されました。「いっしょに作ろう世界の料理」との呼びかけで、30名の元気な子ども達が参加してくれました。今回の講師は、伊万里市大坪町の松尾ハッターヤカおりさん(タイ)と大川内町の原インギットさん(インドネシア)でした。

子どもと指導者が班別に分かれてインドネシアのサクルソプ(スープ)やタイのカレー、手羽焼きなどを、教えてもらいながら作りました。初めて包丁を握ったのではないかと感じるような男の子のぎこちなさにハラハラしましたが、最後まで一生懸命に挑戦してくれました。料理が出来上がって班別の会食の時には、さすがに嬉しそうでホッとしました。今回は香辛料の多いメニューだったので、小学生には少しかわいそうでしたが、みんなで外国の料理に触れたというのは、いい体験だったのではないかと思います。

午後からはお国のゲームなどで遊びました。インドネシアのじゃんけんや歌を教えてもらい、時間が経つにつれ、子どもたちも次第に打ち解けて和やかになっていきました。

今回参加したきっかけはさまざまでしたが、参加した子どもたちのほとんどが学校の行事や部活の試合などと重ならなければ、是非また参加したいというのがアンケートの答えでした。

新しい友達が出来たり、知らない国の文化やことばを知ったり、とても貴重な体験になったのではないかと思います。

これからもこのようなチャンスを逃すことなく、いろんな事業に参加して国際交流を深めていってほしいと思います。

私たち国際交流協会の会員も事業運営委員として企画から携わり、当日は指導者として参加しました。子どもたちをサポートして下さった指導者の皆さん、お疲れさまでした。

伊万里ライオンズクラブ 原 幸子



初級中国語教室を受講して

今回、私は初級中国語教室を初めて受講し、中国語の難しさ、楽しさ、驚き、そして中国という国や文化、人についても学ぶことができました。最初は、周りが大人の人ばかりで少し不安な気持ちがありましたが、講師の何慶海先生をはじめ、一緒に受講している方々にもとても優しく接してもらい、教室に入った時は「你好（ニーハオ：こんにちは）」、出る時は「再见（ザイチエン：さようなら）」、大学に合格した時は「恭喜（ゴンシー：おめでとう）」と声をかけてくださり、毎回心が温かい気持ちになりました。

私が受講したきっかけは、今、中国は企業のみならず、世界へどんどん進出している为中国語が話せるようになったら世界が広がるのではないかと思ったからです。世界の人口 70 億人の中で5人に1人が中国語を話しています。だから、私は少しでも国際人に近づきたいと中国語教室を受講しました。なぜ私が国際人に近づきたいのかというと、将来、国連難民高等弁務官事務所か国際公務員として働きたいと思っているからです。発展途上国の貧しい子ども達に私がさせてもらえることは何か、役に立つことは出来るのか、ということについて今後勉強をしていく予定です。

また、私は習い始めたばかりで佐賀で開かれた中国語スピーチコンテストに出場させていただき、学生朗読の部で「青島海濱(青島の浜辺)」を発表しました。週に1回、約二ヶ月という短い練習期間ではありましたが、丁寧に

ご指導くださった何慶海先生には本当に感謝しています。私は自分の発表する時間が迫ってくると、廊下へ出て発音の確認をしたり、一緒に伊万里から出場した人と日中国旗の髪かざりをつけたりして緊張をほぐしました。そして、自分以外の発表者のスピーチを聞いたり、中国からの留学生による「お国自慢(故郷紹介)」プログラムがあったり、とても貴重な体験となり、改めて中国語を学んでいきたいと思いました。



たり、とても貴重な体験となり、改めて中国語を学んでいきたいと思いました。

伊万里市は大連市と友好関係にあり、中国とふれあう機会も多いと思います。そのような機会での小さな出会いを大切にしていくことも大事だと思います。私がもし、将来、夢を叶える事ができ、活躍することができたなら、伊万里に帰ってきた時には伊万里市の国際交流を深めていくお手伝いが少しでも

もできたらいいなと思います。

今回、このような体験の機会を得ることができ、とても感謝しています。中国語教室での半年間、何慶海先生をはじめ、関係者の方々、本当にありがとうございました。

伊万里高校3年 北野絢子(大坪町)



佐賀県国際戦略が始動 — 海外事務所を開設、企業の海外展開支援も —

東アジア、とりわけ中国は、現在飛躍的な成長を続け、世界における存在感や影響力が増してきている地域です。佐賀県と地理的にも近いことから、このエリアの活力を佐賀県に取り込むための活動の足掛かりとして、平成23年10月、中国の瀋陽市と香港特別行政区に佐賀県の現地事務所が開設されました。これは、佐賀県が進める国際戦略の一環として、中国における県内企業の海外展開への支援や県産品の市場開拓、観光客誘致などを目的としたもので、同年8月に県庁内に設置された「上海デスク」と合わせて、

佐賀県の海外拠点は3ヶ所となりました。さらに今年1月からは、佐賀—上海間に航空便が就航しました。これらにより中国と佐賀県との間で経済・人の交流が促進され、観光客の行き来や伊万里港の貿易拡大などに期待が寄せられています。



中国瀋陽事務所開所式(10.26)

平成23(2011)年度 伊万里市内の国際交流の動き

5月

・「初級中国語教室」開講(5.24～11.2)
講師：大連市公務研修生 何慶海氏
(受講者昼14人・夜18人、各24回)

7月

・イオン香港で伊万里梨、ぶどうの販売促進活動(伊万里・アジアネットワーク事業 7月～10月)

8月

・「日韓親善少年剣道交流会」(8.5～7)
小中学生及び指導者20人が参加、韓国釜山市を訪問し、剣道交流会、ホームステイで交流(伊万里市剣道少年団)



・「国際交流ひろば」開催(8.6)
小中学校生等50人が参加、タイとインドネシアの家庭料理と文化の紹介、ゲームなどで交流
講師：松尾ハツタヤーかおり氏(タイ)、原インギット氏(インドネシア)

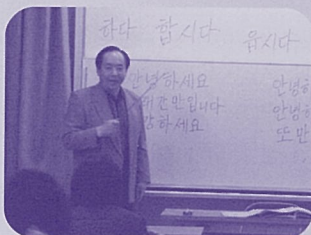
9月

・多文化交流事業「波多津よかここ！山海の幸BBQ」開催(9.11)
市内在住外国人及び市民40人が参加
波多津の史跡、文化財見学とBBQで交流



10月

・「初級韓国語教室」開講(10.27～)
講師：南原高義氏(受講者夜のみ30人、24回)



11月

・伊万里港が国土交通省「日本海側拠点港」の国際海上コンテナ部門に選定される(11.11)
・「日中友好長崎バスツアー」(11.12)
市民25人が参加 日中交流の歴史をめぐり「辛亥革命100年記念 孫文・梅屋庄吉と長崎」展を観覧、出島、唐人屋敷等を見学(伊万里市日中友好協会)

12月

・「民際交流の夕べ」(12.3)
市内及び近郊在住外国人と市民34人が参加(いまりSGG)
・「日中友好餃子会」(12.17)
市内在住中国籍住民及び市民28人が参加(伊万里市日中友好協会)



2月

・大連市公務研修生 何慶海氏が1年間の研修を終えて帰国(2.8)



・多文化交流事業「夢耕房たきの DE 黒米料理に挑戦！」開催(2.26)
市内在住外国人及び市民36人が参加
東山代町川内野のまちづくりプログラムで交流

